



情報通

2008. September 9月号
 発行日：平成20年9月1日
 発行：東京税理士会
 情報システム委員会
 題字：金井塚 清（豊島）

来る9/9(火)・10(水)ベンダー別研修会を開催

すでに支部からのご案内のとおり、東京税理士会情報システム委員会では下記の要領で「ソフトウェアベンダー別電子申告研修会」(会則研修：各社2時間程度)を開催いたします。今回の研修会では、日常業務で利用されている実際のシステムを利用し、同システムですでに電子申告を進めている実例紹介も予定されております。

電子申告をいよいよ始めようとしている方、すでに始めているが段取りを工夫してみたい方には最適の研修となります。多くの会員・事務所職員の参加をお待ちしております。

日時 平成20年**9月9日(火)**、**10日(水)**
 午前10時～午後4時

内容

- ICカード更新
- 電子申告セミナー
- 率先して電子申告推進されている会員発表による事務所紹介
- 成功のカギとなったもの(事務所職員・関与先との対応等)の発表
- その他

場所 **東京税理士会館2階会議室**
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-6 電話03-3356-4462

申込 ①受講希望ベンダー ②所属支部 ③氏名 ④会員または事務所職員の区分を e-Mail で東京税理士会情報システム委員会 johosystem@tokyozeirishikai.or.jp まで送信
 ※できるだけ事前申込にご協力ください。
 ※会員の方は当日研修履歴カードをご持参ください。

日時	9月9日(火)		9月10日(水)	
10:00~12:00	ミロク情報サービス	エプソン	日本ICS	
14:00~16:00	TKC	エッサム	JDL	NTTデータ

税理士ICカード取得更新トラブル対処法

本誌6月号(617号p10~11)・8月号(619号p12~13)でご紹介したとおり、旧税理士ICカード(グリーン)は、9月末をもって有効期限が切れ、e-Tax等での利用ができません。したがって、カードを新カード(ピンク)へ切替えていただくとともに、e-Tax上で利用している電子証明書(ICカードに格納)を変更する必要があります。なお、旧から新へ変更する場合、双方2枚のカードが有効期限内でなければならず、処理が10月1日以後となる場合には、注意が必要です。

【▼スタート】



※ピンク色のカードを持っているが更新手続きがまだの場合は8月号参照

すでにe-Taxを利用しているが、新税理士ICカードの入手が10/1以後となってしまった場合

①日税連電子認証局事務局へ「電子証明書発行申請書」請求し、新税理士ICカードを取得する
 ※本紙6月号を参照

②所轄の税務署に「電子証明書の更新等」に係る変更等届出書を提出
 ※届出の内容(変更等)は、「電子証明書の更新」にチェックすること!

▼オンラインで提出することも可能

http://www.e-tax.nta.go.jp/todokedesyo/kaishi_confirm.html

③税務署より通知書が送付されるのを待ち、利用者識別番号と暗証番号を用いて受付システムにログインし、新たに取得した有効な電子証明書を再登録します。 ※電子証明書再登録方法は、本誌8月号を参照

税理士会3会(東京・東京地方・千葉)と 東京国税局との意見交換会報告

8月19日午後4時より国税局との電子申告意見交換会が開催されました。本来、2時間の意見交換会ですが今回、国税局の人事異動により企画課長等の異動があったため、新体制の紹介等が主な内容で1時間の意見交換会でした。

岡本企画課長の冒頭の挨拶では、税理士会ならびに支部に対し、ベンダー研修会の実施・電子申告の相談窓口設置等について協力要請がありました。

◆新体制紹介

(敬称略)

企画課長	岡本 忍
企画課長補佐	中村 辰博
主任分析官	松岡 克俊
企画課第1係長	村田 卓之
企画課第2係長	河原 幸生
企画課主任	有光 豊
企画課主任	塚本 潤也
税理士監理官	中山 吉明
総務課課長補佐	山本 善春
税理士係長	猪口 美好
課税総括課課長補佐	三島 敏彦
課税総括課総括主査	鷹野加裕子
個人課税課課長補佐	山田 晃
資産課税課課長補佐	鈴木 喜雄
法人課税課課長補佐	宮崎 和久
法人課税課実務指導専門官	島田 晋作

本会と支部、支部間での情報共有に グループウェア Aipo が導入されました

本会情報システム委員会では、本会と支部、支部間における「情報システム委員会事業」の情報共有を目的としたグループウェア Aipo を8月1日導入いたしました。

このシステム導入の背景には、7月1日開催の支部情報システム委員長連絡会議にて「電子申告等に関する最新情報をすばやく本会・支部で共有したい」との要請があります。現在は、本会情報システム委員と支部情報システム委員長を構成メンバーとしていますが、会員の皆様にも支部情報システム委員長を通し情報提供がされることと思います。

一方、会員の皆様におかれましても、電子申告等に関する疑問点、ご意見等を支部情報システム委員会へお寄せいただきますことで、さらなる情報共有がされるものと考えております。

【電子申告等に関する解決サイト一覧】

▼税理士のための電子申告に関するQ & A (H20.1 現在)

<http://www.nichizeiren.or.jp/guidance/denshi-Q&A.html>

▼税理士 IC カード (電子証明書) 発行

<http://www.nichizeiren.or.jp/guidance/denshi-schedule.html>

▼IC カード RW・カードマネージャー関係

<http://www.nichizeiren.or.jp/guidance/denshi-rw.html>

▼その他全般

<http://www.nichizeiren.or.jp/guidance/denshi.html>

▼e-Tax よくある質問

<http://www.e-tax.nta.go.jp/toiawase/yokuaru.html>

▼eLTAX よくある質問

<http://www.eltax.jp/faq/index.html>

税理士情報フォーラム 12月11日(木)開催決定!

※詳細は追ってご案内いたします。

電子申告による税理士事務所の効率化 セミナー

～途中経過報告：電子申告 多大なメリットの数々～

東京税理士会 情報システム委員会 主催

日時 平成20年11月5日(水) 14:00～16:30
場所 東京税理士会館2階 会議室 定員 100名
講師 税理士情報ネットワーク東京ユーザー会 谷 信洋

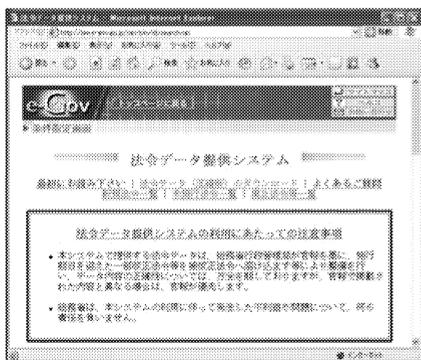
■対象者

電子申告を利用していない方

相続税や贈与税の計算において財産評価が必要な場合、路線価図や評価倍率表を国税庁のホームページで閲覧していますか。平成20年度からは、路線価図は税務署においても備え付けをせず、冊子ではなくインターネット上で閲覧することになりました。もし、紙ベースの路線価図からインターネット検索に切り替える先生は、是非このセミナーにおいてください。電子申告のすばらしさも実感できます。



総務省行政管理局が運営している、電子政府利用支援センターの法令データ検索システムをご利用されていますか。税法の最新条文の確認には最適ですので、国税庁のホームページで提供している基本通達等と併せて、毎日の業務にご利用ください。また、日々の税務判断には、国税不服審判所のホームページや最高裁判所のホームページ、TAINSのホームページも有用です。



税理士業務は、①戦後の紙ベースの時代から、②1980年代の会計コンピュータの時代、③1990年代の税務ソフトの時代、④2000年代のインターネッ

ト導入の時代と変遷し、税理士業務は随分と効率化が図られました。⑤2010年代は、インターネットの本格利用と紙データから電子データ併用の時代となることは間違いありません。

税理士業務に関する情報収集も、インターネットの進展によって格段に便利になってきました。会計、税務、申告はコンピュータ抜きには進まない時代であり、更には、電子申告の導入により事務所の効率化が図られるよう

会 計 → 税 務 → 申 告

になりました。まだ、電子申告を始めていない事務所は、今年の年末調整から電子申告を開始し、その素晴らしさを体感してみてください。

電子申告を効率的に利用したい方

電子申告はスタートしたが、2、3件しか実践できずに、便利さを実感していない場合があります。

電子申告に限らず、システムを変更する場合には、全件について対応することで効率化が図られます。このセミナーでは効率化の手順、税務署収受印への対応、電子申告による確定申告の報告方法などを説明し、電子申告による事務所経費の節約についても実例を基にそのメリットを確認します。

■下記《受講申込書》にご記入の上、FAXにてお申込みください。

FAX : 03-3356-4469

※受講申込書記載事項等の個人情報、当セミナーのみに利用いたします。

《 受講申込書 》	
◆平成20年11月5日開催のセミナーに申込みます。	
(氏名)	(所属支部)
	(登録番号)
(住所) 〒	
(TEL)	(FAX)
(E-mail)	

★お問い合わせ先：東京税理士会 総務課 TEL 03-3356-4462